



# Weekly Report



クラブ・スローガン ~協力は大きな成果~ そして楽しもう

— The 60th anniversary —

会長 鈴木真樹  
幹事 小林 篤

例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日（第1・第2・第3）18時00分点鐘  
事務所：さいたま市岩槻区本町3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681  
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp Mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

鈴木真樹年度 第27回 通算2800例会 令和5年4月20日

## 会長挨拶

## 第60代会長 鈴木真樹

皆さんこんばんは。本日例会に出席していただきました会員の皆様、ありがとうございます。

先週第二例会でもお伝えしました、岩槻クラブより支援させていただきましたバレンゼー市の5つの医療機関にナブライザー（療養用呼吸装置）を寄贈しましたので、4/17～19日までフィリピン・マニラに原田部門委員長と私二人で検証ツアーに行っていました。今回は浦和RCから2名、春日部西RCから3名の計7名での検証ツアーでした。



成田空港からマニラ空港までは約4時間半の距離で、午後13時過ぎに到着しました。皆さんもご存じの通りマニラの気温は30℃あり、とても暑い印象でした。

空港から宿泊ホテルまで約1時間移動した中で感じたのは、5.6年前に来た時より開発が進んでだいぶ印象が変わっていたことです。ところが到着したホテルの周辺は昔と変わらない町並みでした。ウエルカムパーティーまでの時間は休憩し、18時からホテル近くのお店でD3800地区と支援クラブについての打ち合わせ会を行いました。

フィリピンと日本の時差は1時間です。打ち合わせは現地時間の午後8時過ぎに終わり、その後はご想像にお任せしますが、朝も早かったためホテルに戻り休みました。

次の日は8時半にロビーで集合し原田部門委員長と3800地区の方と通訳の方を含め6名で視察に向け出発しました。

訪問1件目は日本で例えるなら住宅街の小さな診療所のようなところで、ちょうどコロナ等で呼吸困難の患者さんが呼吸装置を使用していました。約30～40分程説明を聞き、次の場所も同じような住宅街の小さな診療所で、待合室では患者さんが数名ほど待機している状態で奥の方では呼吸器を装着し治療を受けている患者さんがいました。

3件目も小さな診療所で、やはりここでも外で10名以上の患者さんが順番を待っている様子で院内でも高齢の患者さんが呼吸器を装着し治療を受けていました。

4件目は少し大きな道路沿いにある大きな施設で、ここでも患者さんが外で5、6人待機している状態でした。



その後、昼食を取ってからホテルへ戻り、夕方5時過ぎから各クラブの検証ツアーを報告し合った後、楽しい一時を過ごしました。

19日は飛行機が2時間遅れ、成田着が夜10時過ぎになり、12時頃自宅に帰ってきました。

また、6月に詳しく報告させていただきますが、私が今回の検証ツアーで感じたことは、まだまだ支援が必要だということです。言葉では伝えきれない現状であります。一人でも多くの方が現地に行き、自分の目で見て感じていただくのが大事だと思いますので、これからもクラブの奉仕活動として海外支援を行っていきたいと思いました。

さて、この後は地区協の報告もありますので簡単ではございますが会長挨拶とさせていただきます。



フィリピンからの感謝状

## 幹事報告

## 小林 篤

- ・大宮西ロータリークラブより、5/15(月)開催のオープン例会についてご案内が届いております。(岩槻RC元会員丸山温子さんのご子息・SAMさんがオープン例会講師です。)参加希望の方は5月8日までにお知らせ下さい。
- ・米山記念奨学会からハイライトよねやま277号



- ・5月24日(水)、姉妹クラブ締結しております桃園経国ロータリークラブの周年記念式典が開催されます。出席希望の方はクラブにて登録手続きを致します。

式典日程 2023年5月24日(水) 17:30～21:00  
式典会場 皇家薇庭婚宴會館-巴洛克廳 桃園市桃園區莊敬路二段369號 TEL:(台湾) 03-302-9222

- ・大宮西ロータリークラブより5月の例会予定表以上回覧いたします。

会長部会

田畑寛樹



1. 会長エレクトとして準備する事

① 目標を立てるために、クラブの強み、弱みを調べる。

次年度のクラブ目標を立てるために、クラブの強み、弱み、機会、リスクを調べる必要があります。これは、クラブの現状を正確に把握するために重要です。強みや機会はクラブの成果に影響を与えるポジティブな要素であり、弱みやリスクはネガティブな要素です。目標を立てる際には、クラブの強みや機会を活かし、弱みやリスクを克服するための施策を検討する必要があります。

② クラブの戦略計画に沿った次年度目標を立て、それに向けた行動計画を立てる。

クラブの戦略計画に沿った次年度の目標を立てる必要があります。クラブの戦略計画は、クラブのビジョンや方向性を示したものであり、その方向性に基づいて次年度の目標を立てることが重要です。目標を立てたら、その達成に向けた具体的な行動計画を立てる必要があります。行動計画には、目標達成のための戦略やタスク、責任者、期限などが含まれます。

③ クラブ委員会の委員長を任命する。

クラブの運営を行うための各委員会の委員長を任命する必要があります。各委員会は、会長エレクトの指示の下、クラブの目標達成のために活動します。委員長は、各委員会の活動を統括し、進捗状況や課題などを報告する役割を持ちます。

④ クラブのリーダーシップと奉仕プロジェクトの継続性を確保する

クラブのリーダーシップと奉仕プロジェクトの継続性を確保するためには、会長エレクトはクラブの歴史や文化、優れたプログラムやプロジェクトを知り、継承していくことが必要です。また、新たなプログラムやプロジェクトを企画・開発し、クラブの成長を促進することも重要です。

⑤ 会長エレクト研修セミナー (PETS) に出席する

会長エレクトは、PETS に出席することが求められます。PETS とは、会長エレクトが次年度のクラブ会長として必要な知識やスキルを習得するための研修セミナーです。PETS では、クラブ会長として必要な知識やスキル、ロータリーの活動内容や理念などが学べます。また、他のクラブの会長エレクトと交流することで、アイデアの共有やネットワークができ、よりよいクラブ運営につながります。

⑥ 地区研修・協議会に出席する

地区研修・協議会に出席することで、地区や他のクラブの情報を得ることができます。地区研修・協議会では、ガバナー、ガバナー補佐や他のクラブの会長や役職者が参加し、ロータリーの活動についての情報交換やアイデアの共有が行われます。また、ガバナー、ガバナー補佐からの説明や指示を受けることもあります。地区研修・協議会に出席することで、クラブの運営や奉仕活動のための情報収集ができ、より良いクラブ運営につながります。

2. 会長として

① 例会と理事会会合の議長を務める

会長は、クラブの例会や理事会の議長を務めます。議長としての役割は、議事進行をスムーズに行い、議題に対する意見や意見交換を促進することです。議長はまた、議事録の作成や審査にも責任を持ちます。議長の役割を果たすためには、効果的なコミュニケーションスキルとリーダーシップ能力が必要です。

② 効果的な例会運営を指導する

クラブの例会の運営に関しても責任を持ちます。例会のスケジュール、議題等プログラムを決定し、会員は例会の中で様々な役を行います。例会プログラム内での指導やフィードバックを行い、会員の成長を促進します。効果的な例会運営を指導するためには、リーダーシップ能力とコミュニケーションスキルが不可欠です。

③ クラブ協議会を実施する

クラブ協議会は、クラブの意思決定に重要な役割を果たします。会長は、クラブ協議会の実施に責任を持ちます。会員はクラブの計画やプロジェクトに関する意見を聞き、クラブの進路を決定するための意思を示します。

また、会長はクラブ協議会での議長役を務め、進行を促進し、決定事項を遵守するよう会員に伝えます。クラブ協議会の実施には、リーダーシップ能力、コミュニケーションスキル、意思決定能力が必要です。

④ 予算を作成し(年次監査を含む)クラブの財務を管理する

財務管理は、ロータリークラブを運営していく中で非常に重要です。まずはクラブの予算を作成し、会員に開示することが必要です。毎月の支払いを管理し、年次監査を計画して実施することが必要です。

⑤ 青少年の参加者にとって安全な環境をつくる

ロータリークラブは、青少年プログラムに力を注いでいます。そのため、青少年の参加者にとって安全な環境をつくることは、クラブの重要な責任です。このため、クラブは青少年保護方針を作成し、実施する必要があります。

⑥ 地区ガバナーおよびガバナー補佐と協力する

クラブの目標を達成するためには、ガバナーおよびガバナー補佐と密接に協力することが必要となり、指示や提案には真摯に取り組み、助け合い協働することが重要です。

3. これからのリーダー

① リーダーは役職ではなく役割である

- ・リーダーシップについての意識を高める
- ・会員、クラブの良いところを引き出す
- ・会員同士の関係を深め、協力的な環境の構築
- ・クラブの状況を把握 (俯瞰) する

② 上から目線のリーダーシップではなく、下から支えるリーダーシップ

- ・会員の声に耳を傾ける
- ・会員の意見を取り入れる
- ・会員、クラブが成長することにサポートする
- ・一人で決定するのではなく、クラブが目標達成に向け力を合わせる様に導く

③ ロータリーのリーダーはあらゆる考え、行動に対して寛容の心を持ったリーダーシップを発揮する

- ・ロータリークラブは、様々な背景や価値観を持つ人々が集まる国際的な組織であり、その多様性こそが強みの一つ。そのためリーダーは自分自身の価値観や信念に偏らず、あらゆる考えや行動に対して寛容であることが求められる
- ・自分自身が寛容の心を持つことができるようにすること
- ・会員が持つ様々な考えやアイデアを受け入れ尊重すること
- ・リーダー自身が誤った行動をとった場合には、反省し、謝罪の姿勢を示すこと

ロータリークラブのリーダーは、寛容の心を持ちながら、クラブの理念や目的を達成するための方針を示すことが必要です。会員は、リーダーの指導の下で共に目標を達成するために、具体的な行動の策定することも重要です。

多様性を尊重し、あらゆる考えや行動に対して寛容の心を持ちながら、会員と協力してクラブの目標を達成するためのリーダーシップを発揮することが求められます。

#### 4. サーバントリーダー

牽引型のリーダーシップではなく、仲間を支援するリーダーシップを発揮すべきであるということです。このようなリーダーシップは、仲間たちが目標に向かって邁進する際に、後ろから支援することを意味します。ただし、この支援は従属する、媚びることではなく、仲間たちに自ら考えさせ、自発的に行動するように促すことを目的としています。

このようなリーダーシップを発揮するには、まず自分がリーダーとしての資質を高める必要があります。リーダーは、目標に向かって邁進する仲間たちをサポートするために、自分自身が強い意志力、決断力、説得力、そして信頼性を持つ必要があります。

次に、仲間たちとコミュニケーションを密に取り、意見やアイデアを聞くことが重要です。リーダーは、仲間たちが自発的に行動するように促すために、仲間が持つ資質やスキルを見極め、最大限に活用する必要があります。

また、リーダーは、仲間たちを後押しするために、彼らに挑戦的な状況を与えることが必要です。例えば、プロジェクトや活動を行う際に、リーダーは、仲間たちに自ら考え、自ら動くことを求めるように促し、彼らに自信を与えるような状況を作り出すことができます。

最後に、リーダーは、仲間たちが達成した成果を認め、彼らに対して感謝の意を示すことが大切です。このような認知や感謝は、仲間たちのモチベーションを高め、次のステップに進むためのエネルギー源となります。

ロータリークラブの会長は、牽引型のリーダーシップではなく、仲間を支援するリーダーシップを発揮することが求められます。

##### ●ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。・親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ・過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。

**1. 奉仕 (Service)** ロータリーは、奉仕の精神を基盤としています。ロータリアンたちは、地域社会や世界社会に奉仕し、人々のニーズに応えるために、様々なプロジェクトを展開しています。

**2. 親睦 (Fellowship)** ロータリーは、人々をつなぎ、地域社会と国際社会を結びつけることを目的としています。ロータリアンたちは、親睦を深め、友情を育み、相互理解を促進することに重点を置いています。

**3. 多様性 (Diversity)** ロータリーは、人々が異なる文化、信条、人種、言語、性別、職業、年齢を持っていることを認めています。ロータリアンたちは、多様性を尊重し、異なるバックグラウンドを持つ人々と協力することで、より豊かな社会を作り出すことを目指しています。

**4. 高潔性 (Integrity)** ロータリアンたちは、高潔性を最も重要な価値観の一つとして掲げています。高潔性は、正直さ、誠実さ、倫理的行動、公正さを指します。ロータリアンたちは、自分自身や他の人々に対して、高潔であることを求めている。

**5. リーダーシップ (Leadership)** ロータリアンたちは、リーダーシップを発揮し、自分自身や他の人々をリードすることを目指しています。ロータリーは、優れたリーダーシップの育成に力を注いでおり、ロータリアンたちは、自分自身

のリーダーシップスキルを向上させ、他の人々を指導することに尽力しています。

これらの価値観は、ロータリーの核となるものであり、すべてのロータリアンたちは、これらの価値観を共有しています。これらの価値観は、ロータリーの使命である「地域社会や国際社会に奉仕すること」を実現するための基盤となっている。

##### 地区研修・協議会を受けて

クラブを成功へと導くためには、会員一人ひとりが重要な存在であることを認識し、モチベーション高め、クラブ一丸となって活動することが重要です。会長自身がリーダーシップを発揮し、クラブの目標や方向性を明確に示すことで、会員もそれに呼応する様に参加、協力します。さらに、地域社会に対する貢献や学びを続けることも大切です。

ロータリーは、利他の心を養い、人を育てるとともに、献身的な奉仕活動を行う世界的な団体です。会長エレクト、次年度会長として、これらの点に注意しながらクラブ運営をして参ります。

#### 管理運営部会

管理運営部門はクラブ活性化委員会と私の所属する RLI 運営委員会があります。先ず次年度管理運営部門、細淵雅邦担当諮問から管理運営部門の目的は「クラブ活性化の為の円滑な運営の支援」となりロータリーの将来に向け、戦略計画の実行に向け行動計画の企画立案の中に積極的に取り入れていくことを推進する、また

ロータリーは時代と共に変化をしていくとおっしゃってありました。時代と共に変化していくとは何か？それは、ロータリーにおける取り組み方は研修モデルから学習モデルへと移行している。研修 Training とは情報や知識を与えること学習 Learning とはスキルや能力を向上させるために情報を吸収すること。今までは研修内容重視の考え方でしたが今後はロータリーでの学習体験を指導する人は、知るべき情報を伝える講師としてではなくメンバーがアイデアを共有出来るように導くファシリテーター(ディスカッションリーダー)に各自がなる事が必要であるとして、またロータリーを通じて「人間力」を高めましょうと熱意を持って教えて頂きました。

次に次年度管理運営部門 羽田しげみ部門委員長は管理運営部門はクラブ機能を充実させるためにクラブ内で会員が取るべき行動に関わるものすべてを充実させる部門であります。

①大きな特徴として管理運営部門、会員増強維持部門、公共イメージ部門 IT 委員会の4つを一体化し DEI 推進委員会と位置付けクラブ活性化を推進いたします。

②2770地区全クラブがロータリー賞をとれるよう挑戦するのサポートします。

③RLI 運営委員会は地区 RLI 委員会の指示のもと RLI3 回 DL 研修1回の開催する

④MyRotaryno100%登録の推進

次に、次年度クラブ活性化委員会、田中康之委員長は、

①クラブ活性化を目的に当地区の全てのクラブがロータリー賞にチャレンジするよう効果的なアドバイス。

②昨年度に引き続き DEI を推進します。

③各クラブにビジョン、戦略計画の策定を推奨いたします。

次に次年度 RLI 運営委員会坂寄栄司委員長から RLI 研修セミナーの設営について説明されました。

#### 小林 篤



## 地区研修・協議会報告 1

RLI 運営委員会の活動はパート1：10月22日(日)、パート2：12月16日(土)、パート3：1月27日(土)です。またDL研修は9月30日(土)場所は大宮ソニックシティになります。私自身、次年度管理運営部門委員長と地区 RLI 運営委員として活動してまいります。岩槻 RC の皆さんご理解ご協力をして頂き頑張ってまいりますのでよろしくお願いたします。

### 公共イメージ部会

松本輝夫パストガバナーからのディスカッションテーマ、「ロータリーって何？」という質問に対して答えられるか？地域住民の方々に活動の理解や評価に繋がらせるため、知ってもらうためにはどうすべきか？の方法として現代社会では当たり前前の連絡手段である SNS (Facebook、LINE、Instagram、YouTube) などを上手に活用し情報を発信していくことが大切であり、少しずつ継続した発信が活動を知ってもらう方法になっていくと思われま。奉仕活動や事業をするにあたり集合写真やポーズをとった写真だけでなく、ゴミ拾いをしている姿や休憩中に食事をしているシーンなど自然な写真を入れ込むことにより活動内容を正確に鮮明に伝えることで事業内容が伝わり公共イメージ向上にも繋がってきます。「映える」「推し」という言葉があてはまる写真を掲載したり、SEO 対策としての写真のアップや#(ハッシュタグ)を活用し事業の周知や活動をひろめていく道具として利用していかると感じました。

### 伊藤真守



### 公共イメージ向上のための方法紹介

1. 第2770地区の公式HPにクラブ活動を投稿する。
2. パンフレットの作成(第2770地区公式サイト内のテンプレート活用)
3. 動画投稿やプロモーション動画(第2770地区公式サイト内のテンプレート活用)地区公式サイト内のテンプレートを活用しプロモーション動画を製作し、SNSやYouTubeでの活用ができるようになります。開設の予定は9月なので、その際は内容などをご相談させて頂いたり、ご協力をお願いします。
4. SNS (Facebook、LINE、Instagram、YouTube) のアカウントを持ち投稿していく事で活動を知ってもらう方法。

最近では Instagram を閲覧することで情報を得る方が多いです。桜の開花情報や人気店の混み具合などリアルタイムで情報を得ることができます。

現代では当たり前になった「インスタ映え」「推しメン・推しグッズ」などの「推し」という言葉を利用した地域の自慢の風景やお祭り紹介など、色鮮やかな写真を投稿したりして閲覧に繋げていく方法もあります。

#ハッシュタグを付けて閲覧者が見やすい環境を作ることも有効的な手段となります。

以上の方法をしていくために可能な限りクラブ会員の皆様が事業活動に参加した際に、例えば2枚の写真を撮っていただく等のご協力で簡単に実行できてしまう事もあるのかなと思いました。研修中でのお話でまだしっかりとまとまった考え方となっていないので、各会員の皆様ともお話をし、活用方法なども決めていけたらいいかと思ひます。

### 古希祝い



鈴木隆会員が4月23日に古希(70歳)を迎えられます。これに先立ちまして、クラブを代表して鈴木真樹会長からお祝いをお渡ししました。おめでとうございます！



### スマイルBOXより

- 伊藤真守 本日も宜しくお願ひ致します。  
岡野育広 よろしくお願ひ致します。  
小林 篤 地区研修・協議会報告、よろしくお願ひ致します！  
鈴木 隆 本日もよろしくお願ひ致します。  
鈴木真樹 会員の皆様、本日の例会宜しくお願ひ致します。次年度に向けた地区協の報告をさせていただきます。  
関根信行 地区研修・協議会の報告です。よろしくお願ひ致します。  
田中芳明 よろしくお願ひ致します。  
田畑寛樹 皆様こんばんは。本日は地区研修・協議会報告致します。ご参加下さいました皆様、ありがとうございました。皆様、何卒宜しくお願ひ申し上げます。  
出山知宏 よろしくお願ひ致します。  
原田晃博 鈴木会長と(国際奉仕)フィリピン検証ツアーに行ってきました。  
三浦宣之 本日は宜しくお願ひ致します。

❀ たくさんのご芳志ありがとうございました ❀

### スマイル報告

本日のスマイル合計	22,000 円
年間累計額	529,000 円

### 出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
25	11		5	64.00%